

能登川清掃センター
粗大ごみ処理施設



中部清掃組合

竣工を迎えて



住みよい快適な生活環境を確保したいという念願は、私たちに共通するものであります。

近年、生活水準の向上等により、各家庭から排出される「ごみ類」は、大都市なみに多種多様化、大型化し、地域の環境保全の上で、これらの清掃処理業務は、一日もゆるがせない重要な業務となっています。

このため当組合では、清掃業務達成のため、日野町の日野清掃センターに可燃性ごみ処理施設を、当能登川町の能登川清掃センターには不燃性ごみ処理施設を設けて、処理をして参りました。

ここに完成しました粗大ごみ処理施設は、能登川清掃センターの更新施設として、粗大ごみ・不燃ごみの処理と、ピンの手選別により、ごみの減量減容化と再資源化を、安全かつ合理的に図れるもので、関係者一同の喜びとするものです。

今後、私たち関係者はこれらの施設を拠点に、さらに清掃行政の充実に努める所存でございます。

竣工にあたりまして、格別のご理解とご協力を賜りました関係各位に対し、深く感謝申し上げます次第でございます。

平成6年3月

(厚生年金・国民年金積立金還元融資施設)

“混ぜればごみ、分ければ資源”



一般概要

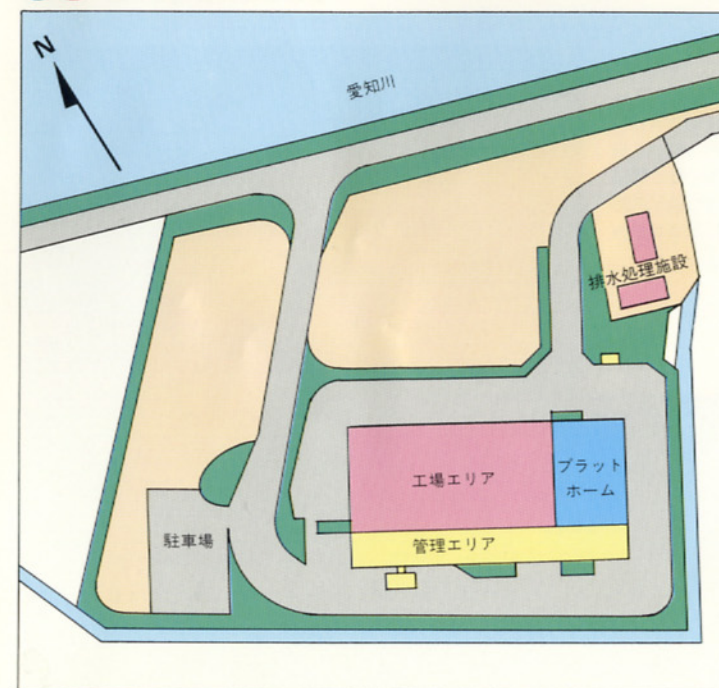
本施設は、粗大ごみ・不燃ごみ・資源ごみを、安全に、合理的かつ効率的に破碎選別処理を行い、資源回収を主目的にして、埋立物の減量減容化を図るものです。

また、外観的にも、琵琶湖の美しい景観に融和し、さらに衛生的で効率の良い処理ができる、公害のない近代的な設備としています。

施設の特徴

1. 切断設備、破碎選別設備及び手選別設備を合わせ持ち、あらゆるごみの処理ができます。
2. 前処理用の切断機を設置することにより、破碎効率を高めています。
3. 効率の良い選別機の組合わせにより、精度の高い選別回収ができます。
4. 遠隔集中制御により、効率的な運転管理ができます。
5. 2次公害防止、安全対策が充分に行われ、周辺環境が損われないようにしています。

全体配置図



施設の概要

工事名	中部清掃組合粗大ごみ処理施設建設工事
所在地	滋賀県神崎郡能登川町種528番地
処理能力	50 t / 5 h(日)内手選別8 t
処理方法	併用施設+手選別施設
敷地面積	約12,231㎡
建築面積	1,948㎡
延床面積	3,822㎡
建屋構造	鉄骨A L C・一部R C造4階建
着工	平成4年7月14日
竣工	平成6年3月20日 (2ヶ年継続事業)
総工事費	30億7,970万円

主要設備概要

●受入供給設備	
ごみ計量機	20t.....1基
プラットホーム	420㎡.....1式
破碎不適物摘出コンベヤ	3.0m幅.....2基
ごみ貯留ピット	280㎡.....1式
ごみ供給クレーン	3.5㎡.....1基
不燃ごみ供給コンベヤ	1.65m幅.....1基
資源ごみ供給コンベヤ	1.05m幅.....1基
粗大ごみ供給コンベヤ	1.65m幅.....1基
供給フィーダ	1.5m幅.....1基
●破碎設備	
切断機(油圧式2軸剪断破碎機)	195Kw.....1基
回転式破碎機	300Kw.....1基
●搬送設備	
コンベヤ類1式
●選別設備	
磁力選別機(1次、2次)各1基
不燃可燃物選別装置(トロンメル)1基
風力選別機(1次、2次)各1基
アルミ選別機(1次、2次)各1基
手選別コンベヤ1基
●貯留設備	
貯留ホッパー1式
カレット貯留ヤード3槽
●集塵設備	
サイクロン2基
バグフィルタ2基
排風機2基
除塵機4基
●給排水設備	
.....1式
●電気計装設備	
.....1式
●その他設備	
空気圧縮機1基
真空掃除機1基
可搬式掃除機2台
コンピュータ設備1式

●● 主な設備のご紹介



▲中央操作室
各装置を集中的に操作する所。



▲プラットフォーム
ごみ収集車両による投入作業が容易で安全に行える所。

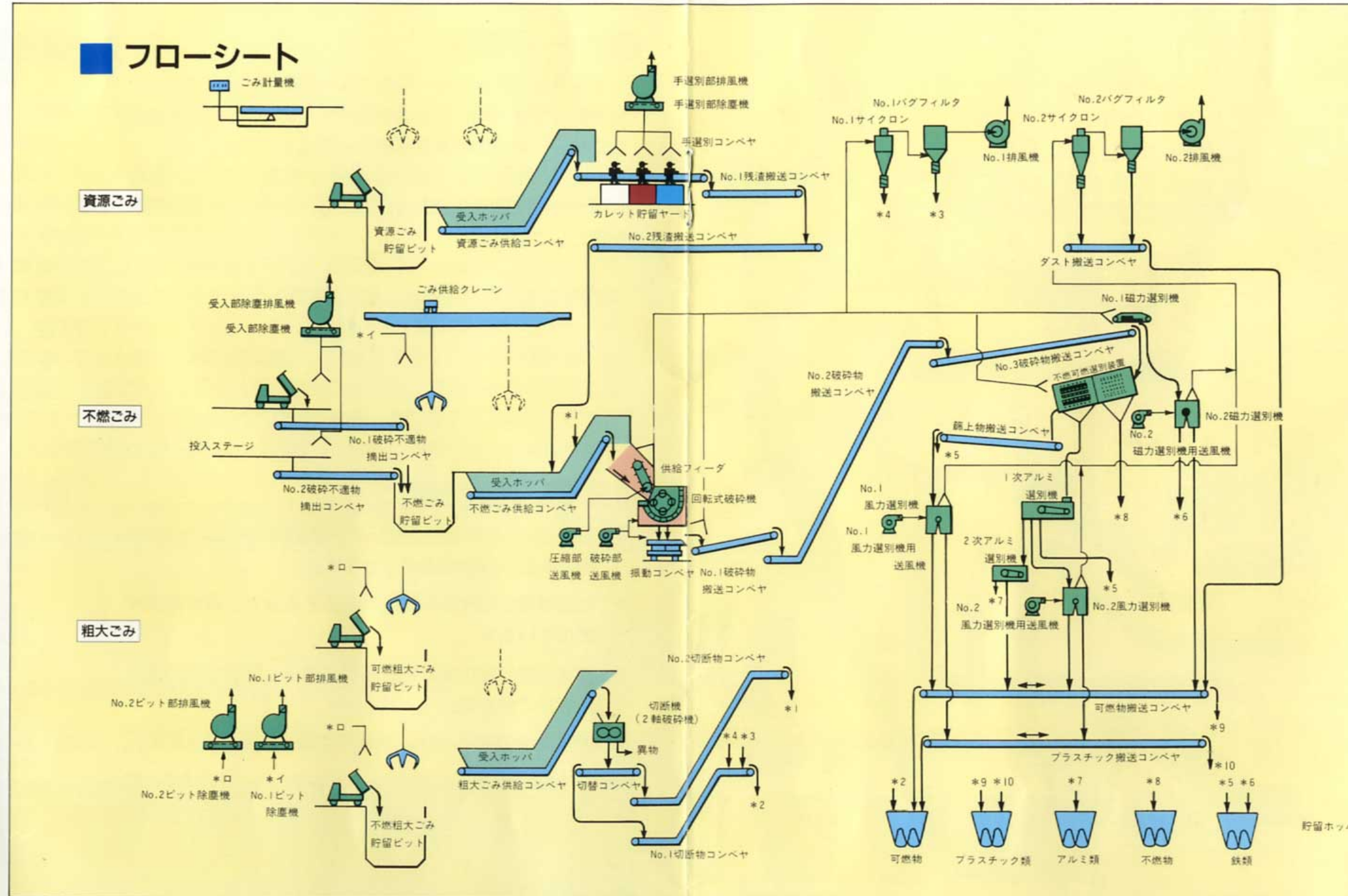


▲ごみ供給クレーン
貯留ビットのごみを受入ホッパに供給します。



▲粗大ごみ供給コンベヤ
受入ホッパに投入されたごみを切断機に円滑かつ定量に供給します。

●● 粗大ごみ処理施設フローシート



切断機▶
粗大ごみを切断して、不燃性ごみは次の破碎機で処理し易くします。また、可燃性ごみは可燃物貯留ホッパへ送ります。



◀供給フィーダ
供給されたごみを圧縮しながら確実に破碎機に送ります。
◀回転式破碎機
不燃ごみ・粗大ごみをリングハンマーで破碎します。

●● 主な設備のご紹介



▲手選別コンベヤ
人の手により白・茶・青色カレットを選別します。



▲No.1 磁力選別機
鉄を磁力により回収します。

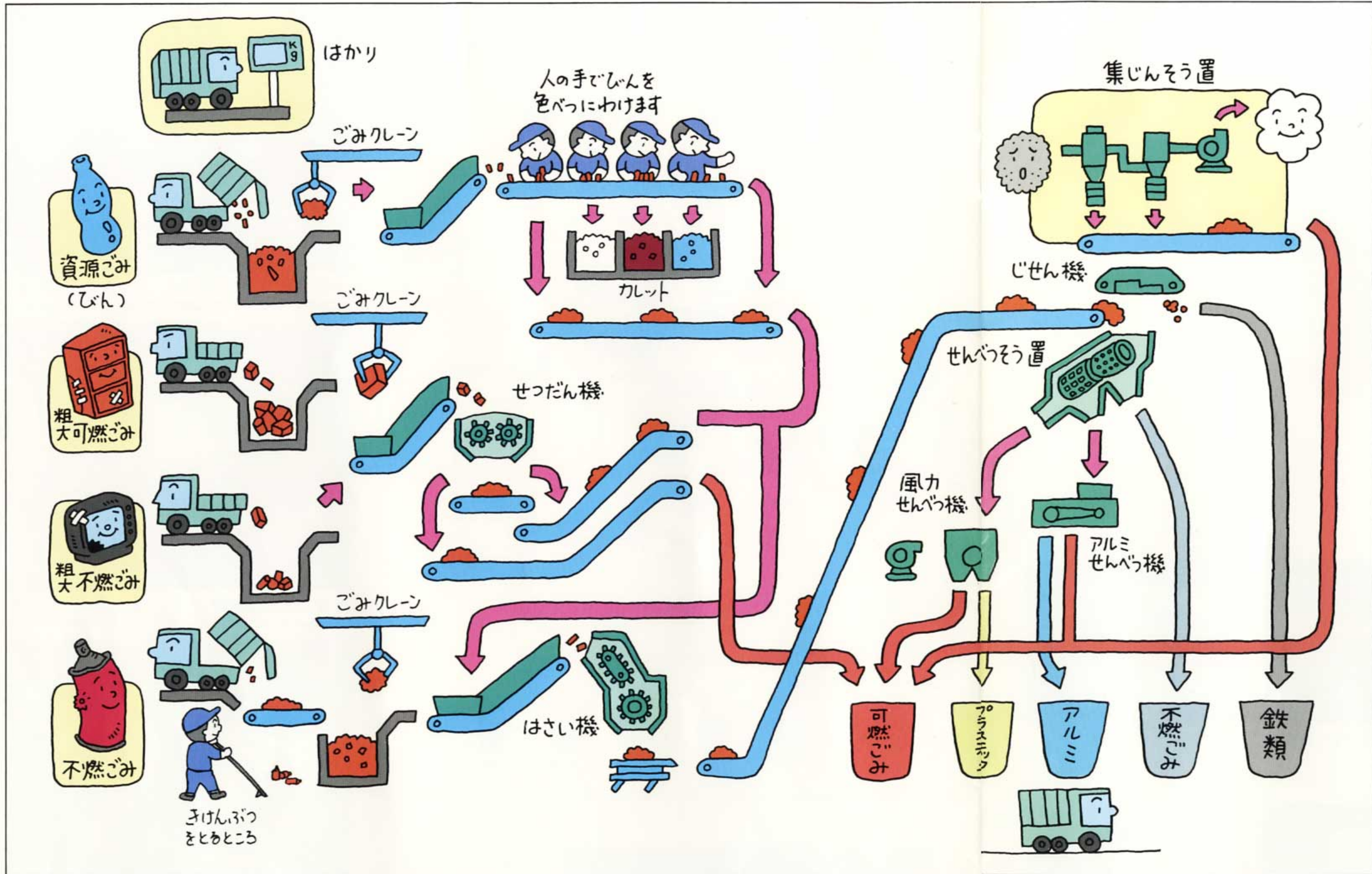


▲不燃可燃選別装置
不燃物(ガラス・陶器)、可燃物を選別します。



▲1次アルミ選別機
アルミと可燃物に選別します。

●● 収集された不燃ごみ・粗大ごみ・資源ごみは、このような流れで処理され資源化されます。



●● ごみはこのように出して下さい。

燃えないごみの出し方

■ 不燃ごみ収集日に出して下さい

必ず指定袋を使用して、市町名及び氏名を記入して下さい。但し、各市町によって出し方が異なりますので注意して下さい。

☆空き缶 アルミ・スチール缶、なべ、やかん、スプレー缶 ☆小型家電類 ラジオ、トースター、ドライヤー、炊飯ジャー、ポットなど

☆陶磁器 茶碗、皿、湯飲み、花瓶など ☆その他 資源とならないびん、鏡、ガラス、使い捨てカイロ、電球、蛍光灯、耐熱ガラス食器(割れガラスは紙で包み「ガラス」と書き、収集する人にわかるようにして下さい)

粗大ごみの出し方

■ 可燃性粗大ごみ→個人で直接持込(有料)

☆ベッド、布団、畳、応接セット、木製机、椅子、たんすなど (50センチ以下に切ってあれば、日野清掃センターへ持込可能)
最大寸法…1.5m×2m×0.8m以内
(材木…0.2m角×2m以内で乾燥)

■ 不燃性粗大ごみ→個人で直接持込(有料)

最大寸法…1.2m×1m×2m以内

☆大型電化製品 家庭用冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機、ステレオ、掃除機など (昭和47年以前に製造されたテレビ・エアコン・電子レンジの搬入については、各市町担当窓口に問い合わせ下さい)

☆大型不燃物 ストープ(灯油は全て抜いて下さい)、自転車、家庭用金庫、スチール机、ロッカーなど

資源ごみの出し方

■ 資源ごみ収集日に出して下さい

必ず指定袋を使用して、市町名及び氏名を記入して下さい。但し、各市町によって出し方が異なりますので注意して下さい。

☆空きびん ジュースのびん、酒・洋酒のびん、食料の入っていたびんで青、緑、茶、透明のびんに限ります。

《出し方》 王冠・キャップを取り除き、びんの中を水洗いして出して下さい。割れたびんは「不燃ごみ袋」へ入れて下さい。

ジュース、酒、洋酒のびんなど

びんの中を水洗いして、空きびん回収日に資源ごみ袋に入れて出して下さい。

キャップは不燃ごみに
キャップを取って中身を出して

●● 二次公害対策も万全

●騒音対策

破碎機や排風機など大きな騒音のもとになる装置は、防音構造の鉄筋コンクリート建屋内に格納しています。また排気は音を消して(サイレンサー)から大気に放出するので、とても静かです。

●振動対策

破碎機の振動が建物や外部に影響を与えないように防振ベッドの上に乗せています。

●臭気対策

臭気発生源に消臭剤を噴霧したり、換気装置を設けています。

●防塵対策

破碎機や選別部などから出るホコリや細かいごみは、大型の集塵装置で吸引。その後サイクロンやバグフィルターでダスト(粉塵)をしっかり捕えて、きれいな空気にしてから外に放出します。



●爆発火災対策

万一爆発、火災が発生しても人災がないように、破碎機は鉄筋コンクリート造りの室内に格納し、また散水装置を付ける等の配慮をしています。

